

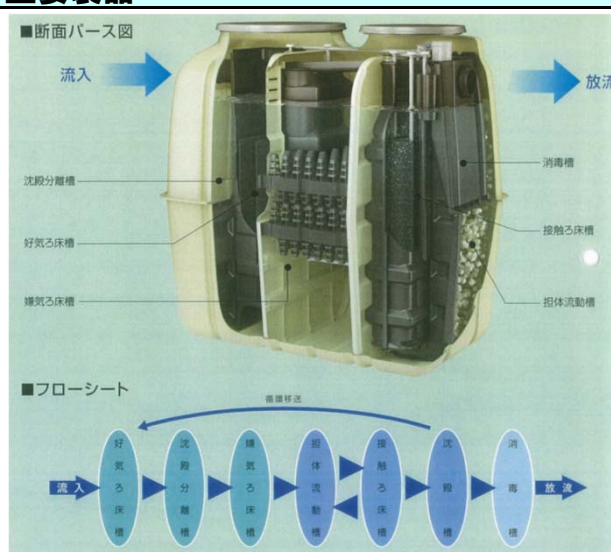
滋賀工場

1. 事業概要

住所	〒520-3211 滋賀県湖南市高松町2番1
従業員数	60名 (2021年12月現在)
敷地面積	本社工場: 128,305m ² 飛地: 51,577m ²
事業内容	1. 小型浄化槽、浴槽の開発・製造 2. 中・大型浄化槽の開発



主要製品



【小型浄化槽：KZ II型】

【FRP浴槽】



工場変遷(沿革)

(設立年月日)

昭和45年	(1970)	工場完成 操業開始
昭和45年	(1970)	SMC法によるFRP浴槽の生産を開始
昭和46年	(1971)	SMC法によるプレス浄化槽の生産を開始
平成 8年	(1996)	SMC法によるプレス小型合併処理浄化槽の生産開始
平成12年	(2000)	「ISO14001」の認証を取得
平成14年	(2002)	浄化槽及び浴槽製造における「ISO9001」の認証を取得
平成15年	(2003)	カラーベスト部門が松下電工と合併し、分社独立 (新会社名 クボタ松下電工外装株式会社 現:ケイミュー)

滋賀工場

2.環境方針

環境方針

Kubota

KMEW

環境方針

滋賀工場は、下流に近畿の水櫃・琵琶湖を控えた湖南工業団地に立地し、快適な住生活環境づくりを目指して、屋根材及び浄化槽・浴槽等の住宅関連製品を設計・生産している。

当工場は、企業の社会的責任として環境調和型創造企業を目指し、行動指針を以下の通り定め、地域・湖国及び地球の環境保全の向上に貢献する。

1. 製品の研究・開発や製造過程、並びに物流・品質クレーム対応等、“活動”、“製品”“サービス”を対象として次の課題に取り組む。
 - ①省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の減量化並びに資源再利用の推進
 - ③水質・大気の排出管理の維持強化
 - ④環境影響の最小化を目指した製品開発 等
2. 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
3. 環境関連法、条例、その他の要求事項を遵守する。
4. ISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムの構築により、環境目標を設定し、実行・評価し、改善を行う。
5. 本方針は、文書等で「当工場の全ての従業員（協力会社含む）」に周知し、全員の認識・自覚を促すことで確実に推進する。

2019年 4月 1日

株式会社クボタ 滋賀工場長

内川 隆史

ケイミュー株式会社 滋賀工場長

谷藤 啓史

ISO認証取得状況

平成12年 5月 「ISO14001」認証取得

平成14年 5月 浄化槽・浴槽製造における「ISO9001」認証取得

滋賀工場

3.サイトデータ(2021年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	974
水使用量	万m ³	8.1

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,653
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		小型貫流ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SOx	—		※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	ppm		—	—	29※
ばいじん	g/m ³ N		—	—	—

※旧式の小型貫流ボイラーは法規制の対象外ですが、行政よりNOx測定を義務付けされています。

排水量	合計量	万m ³	3.5
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	6.0～8.5	7.4～7.7
		BOD	mg/l	30	0.5
		COD	mg/l	30	2.0
		窒素	mg/l	12	0.10
		りん	mg/l	1.2	0.03
		六価クロム	mg/l	0.05	0.01
		鉛	mg/l	0.1	0.01
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	—	—
		BOD	mg/l	—	—
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	—

廃棄物排出量	t	235
再資源化率	%	97.5

VOC排出量	t	20
--------	---	----

PRTR法対象物質集計結果

単位:kg/年

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	場外移動	下水道
53	エチルベンゼン	0	0	0	0	52	0
80	キシレン(総量)	0	0	0	0	77	0
240	スチレン	20,151	0	0	0	0	0
352	ジアリル=フタラート	67	0	0	0	0	0
448	メチレンビス(4,1-フェニル)=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

滋賀工場

4.環境トピックス

- ① 環境・公害事故(ヒヤリハット含む)は、ゼロを達成しました。
- ② 主力の小型浄化槽KZ型をマイナーチェンジし、2019年1月よりKZⅡ型を上市しています。内部部材の変更に伴い、従来は電力の20%を占めていた射出成形機を不要としました。これにより、2019年度以降は省エネ△60万kwh/年の効果が継続しています。
- ③ 生産活動の中心であるFRP工場について、2020年度に耐震・BCP対策工事を完了しました。当該工場の足場を流用し、FRP工場の全ての天井水銀灯(100灯)をLED化しました。これにより、省エネ2020年度比△6.6万kwh/年の効果が出ています。
- ④ コロナ禍もあり、オンライン会議が主となったことから、会議体でのPC利用が定着しました。そのため、通常の所内会議でも紙の資料を原則廃止し、データ資料に切り替えたことでコピー用紙購入量が、2019年度比△26%と大幅に減少しました。

5.環境コミュニケーション

※ 例年は「工場周辺の清掃活動」として、近隣にある茶釜川を従業員で清掃していますが、2021年はコロナ禍のため、当該活動は実行できませんでした。その他の環境コミュニケーションも実行できませんでした。